

令和5年度二本松北小学校 学校だより No. 90

令和6年 2月19日

文責:校長 大内雅之

輝け!北っ子!

北小の伝統行事「筆供養」

~感謝の気持ちを込めて~



16日、TV 放送で「筆供養」を行いました。北小の卒業生や保 護者の方は、周知の行事のことと思いますが、あらためて説明し ます。筆供養とは画家や書家が使い古した筆を「筆塚」に納めて「 供養し、感謝の気持ち表す行事のことです。北小の場合には、大 山忠作先生のご寄付で昭和48年に作られた「筆塚」に短くなっ た鉛筆を納めることを通して、学用品に対する感謝の心を育むと 同時に、母校を愛する大山先生の深い心情に触れることを目的と しています。

今年も放送での実施となりましたが、集会委員会が会のすべてを取り仕切ってくれました。大 山先生と筆供養についての説明をしたり、大山先生に関するクイズも出したりと工夫を凝らした 内容でした。そして、最後に各学級の代表が、学級ごとに集めた短くなった鉛筆を集会委員会代 表に渡し、「納筆」を託しました。





私からは、筆供養を 通して鉛筆だけでなく、 自分の身の回りの「人」 「もの」「こと」への 感謝の心(ありがとう の心)を大事にしてい こうという話をしまし た。筆供養は北小なら ではの伝統行事。これ からも大切に続けてい かなければと思いまし

「大山忠作先生クイズ」の問題から(ご家庭でも楽しんでください)

①大山先生は二本松出身ですが、生まれた家はどこにあったでしょう。

「根崎/郭内/表/竹田/若宮]

- ②小学校時代の大山忠作先生はどんな性格だったでしょうか。[明るい/活発/おとなしい]
- ③大山忠作美術館には、先生の作品がだいたい何点ぐらいあるでしょうか。「50 / 130 / 170]
- 答えは、裏面の大山先生の紹介文や大山忠作美術館 HP から見つけてください。

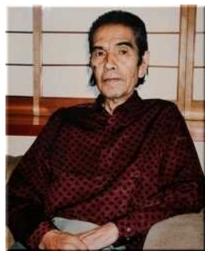
北小の先生方の取組(研修) が表彰されました ~自ら学び続ける児童の育成~

先日二本松市教育委員会から教職員実践論文表彰にお いて「優秀賞」をいただきました。今年度北小では「自 ら学び続ける児童の育成~子どもの問題解決的な思考を 促す授業の創造~」をテーマに授業研究、授業改善に取 り組んできました。今回の表彰を励みとして、今後も継 続実践していきたいと考えています。



<u>、※ 先日お伝えした「タイムカプセル」ですが、当時の卒業生代表が引き取りに来て下さいました。迅速な対応ありがとうございました。</u>

大山 忠作先生 (オオヤマ チュウサク) 大正 11 年 5 月 5 日~平成 21 年 2 月 19 日



■略歴・解説
■ (二本松市教育委員会 IT 美術館より)

染物業を営む大山豊治・きくの次男、2男4女の第3子として 二本松根崎に生まれる。幼児期を安達太良山と阿武隈川に囲まれた自然環境の中で過ごし、二本松第二尋常高等小学校卒業後に上京、東京美術学校(現.東京芸術大学)で日本画を学ぶ。第2次世界大戦の戦況悪化により、学徒出陣のため繰り上げ卒業となり戦地へ向かう。

終戦を迎え戦地から復員すると、東京都美術館で開催中だった 第1回日展を見て感動し、制作意欲を掻き立てられ、第2回日展 では「O先生」を初出品し初入選。以後、日本画研究団体「一采 社」に参加、山口蓬春に師事し、日展を主な舞台として、描きた い物を描くという姿勢で、人物から宗教、花鳥、風景画まで幅広 い題材の作品を発表し続ける。代表的な業績としては、法隆寺金

堂壁画再現模写への参加、日本芸術院賞受賞作「五百羅漢」、成田山新勝寺光輪閣襖絵「日月春」 秋」28 面及び「杉」「松」「竹」22 面、同じく聖徳太子堂壁画 6 面「白鷺」「蓮」「桜」「牡丹」「菊」「楓」の制作などが挙げられ、 日展においても、理事長、さらには会長として日本最大の芸術「団体の舵取りを行い、わが国の芸術文化の振興・発展に尽力したことが特筆される。平成 18 年」には、写生を踏まえた平明で骨太な描写、さらにその画技と団体への貢献により、芸術文化の向」上に寄与したことが認められ、文化勲章を受章した。